

職 位	COE 研究員
氏 名	平田 知久
<p><b>研究概要</b></p> <p>2008～2009 年度は、これまでの研究であるサディズム・マゾヒズムを機軸とした（社会）思想史を描写する試みにおいて培った知見、およびそこから派生した読書の社会史に関する知見を、現代の情報社会における諸問題に適用するための基盤づくりを行った。</p> <p>まず、下記の報告論文においては、情報、モノ、人のグローバルな移動が盛んな現代社会が生み出す諸文化の深刻な対立について、それを調停する社会思想の一つである「多文化主義」の可能性と限界を、サドの社会思想との比較から明らかにした。多文化主義の基底には「共感・共苦」があり、それは多文化主義の内部からは正当化できない与件であるという帰結は、現代の情報社会環境下における「親密性」のあり方に一石を投じるものともなろう。</p> <p>また、下記の Proceedings、および国際ワークショップにおいては、世界規模で広がる現代の情報社会を把握するためにインターネットカフェという場を提起し、中国、韓国、日本のインターネットカフェで行ったインタビュー調査から、そのような場に着目する理論的含意を明らかにした。さらに、下記の国内ワークショップにおいては、「地域情報」を現代社会においてどのように生かすのかという問題について、個人（の欲望・欲求）ベースの情報消費のスタイルに対する批判から、地域情報を現実の地域と連動させつつ別様の情報消費のスタイルを切り開く意義について論じた。</p>	
<p><b>業績リスト</b></p> <p><u>報告論文</u></p> <p>「サドのマルチカルチャリズムについて」立命館大学生存学研究センター『生存学研究センター報告』No. 4, pp. 279-298. 2008 年 10 月</p> <p><u>Proceeding</u></p> <p>“Cultural Differences in Internet Usages in China, Korea and Japan and “the Materiality of the Internet”: Towards a Theoretical Reconsideration of the Intimate and Public Relationships on the Internet”, Kyoto University Global COE Program “Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia”, <i>Proceedings of the 1<sup>st</sup> Next-Generation Global Workshop</i>, pp. 359-367, March, 2009.</p> <p><u>国際ワークショップ</u></p> <p>“Cultural Differences in Internet Usages in China, Korea and Japan and “the Materiality of the Internet”: Towards a Theoretical Reconsideration of the Intimate and Public Relationships on the Internet”, The 1st Global COE Next-Generation Global Workshop (Kyoto Univ.), January, 2009.</p> <p><u>国内ワークショップ</u></p> <p>「データベースとしての「地域」とは何か？——人々はそれをどのように生かすことになるのか？」日本社会情報学会 第 2 回 実践型&amp;公募型ワークショップ (名古屋大学)、2009 年 3 月</p>	

